

平成 21 年度 第 2 回修習セミナー報告

修習技術者支援委員会 委員 鈴川 竜司

去る 8 月 22 日 (土) 平成 21 年度第 2 回修習セミナーを開催しました。今回は「技術者倫理」を主テーマとして広島大学の藤原章正先生をお招きして「中立公正の堅持と自立的な規範とは」というタイトルで講演して頂きました。藤原先生は土木学会の倫理教育小委員会の委員長をお務めになるなど、倫理教育の方面でご活躍されており、同学会のこの分野の刊行図書にも携わっておられます。

セミナーの後半では、修習技術者の八百屋さやか氏 (JICA 派遣員) にネパールでの廃棄物管理について講演して頂きました。

セミナー参加者は修習技術者から年配技術士に至るまで多数の参加がありました。

1. 技術者倫理

藤原先生の講演では「技術者倫理とは」といった根源的なテーマから具体的事例に至るまでをわかりやすく解説して頂きました。

倫理・社会規範については、人間としてのモラル (倫理)、専門家の自律的判断、法律・規則の 3 つが主な構成要素となることを説かれました。加えて、近年の倫理関連問題の特徴として、技術者の関わり方が極めて重要になっていること、適切なリスク管理が不備のケースが多いことなどが紹介されました。

中立公正については、個人、会社組織、専門家集団、社会、の何処で線引きするか、バランスをとるかがポイントになるとのこと。

講演の後半の事例課題の前に、チャレンジャー事故を参考に、建設関連技術者への教訓について多くの学ぶべき点を示して頂きました。課題事例においては、考えるべきポイントや注意すべきポイントを交えながら、実際に倫理的問題にあたるに際して必要となる知見を与えて頂きました。

質疑応答に際しては、実際に発生しうる判

断の微妙な事例が起こった場合の対処法など、活発な議論が行われ大いに盛況でした。



藤原先生の講演

2. 修習技術者事例発表

青年技術士交流会のメンバーでもある八百屋さやか氏に「途上国の廃棄物管理」と題して発表して頂きました (八百屋氏はネパールに 2 年間派遣されこの 6 月に帰国しました)。

発表は、現地の写真を多く紹介し「途上国の廃棄物管理」について生々しく説明して頂きました。派遣期間中の苦労話や今後の課題等について、現地での経験を交えた説得力のある発表でした。質疑応答も参加者から多数なされ、国際貢献活動への関心の高さが伝わってきました。



八百屋氏の発表

3. 最後に

ここ数年、修習セミナーへの参加者は増大傾向にあり、今後も修習技術者の皆様にとって有意義なセミナーを企画・準備していきます。奮ってご参加下さい。